

■太宰治 小説家。屈折した意識から心中・自殺未遂を繰り返し、〈敗戦〉直後に流行作家となるも、結局人妻と入水。

だざいおさむ

伊藤博文暗殺1909＝ 青森県生れ。津軽屈指の大地主の六男に生まれたことが、生涯と芸術に決定的な影響を与えた。

明治天皇没・1912＝ 3歳：父が衆議院議員に当選。津島家の最盛期。

本格政党内閣1918＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝12歳：

水平社結成・1922＝13歳：小学校卒業。高等小学校に通学。成績優秀だが、腕白で悪戯が絶えなかった。父が貴族院議員になる。

関東大震災・1923＝14歳：父が死去。県立青森中学校に入学。級長を務め人気者。

治安維持法・1925＝16歳：『校友会誌』に最初の作品を発表。同人誌『麗気楼』を創刊、編集発行人となる。

円本時代始・1926＝17歳：女中との恋愛に悩む。同人誌『青んぼ』を創刊。

金融恐慌・1927＝18歳：中学を成績優秀で卒業し、旧制弘前高校文科に入学。心酔していた芥川の自殺に衝撃を受ける。花柳界に入り、芸伎と馴染みになる。

共産党事件・1928＝19歳：学業が急速に悪化。本格的な文芸活動に入る。左翼思想に接し、大地主の子であることに屈折した罪意識を抱くようになった。自殺未遂事件を起す。

海軍軍縮条約1930＝21歳：東京帝大仏文科に進み、井伏鱒二に師事する。この年から非合法運動に関係するようになった。青森の芸妓小山初代と結婚するが、その直前にパーの女給と心中をはかり女だけが死去。津島家から義絶される。

満州事変・1931＝22歳：

五一五事件・1932＝23歳：この事件は、非合法運動からの離脱とともに彼の心に終生消えぬ“黒点”を残した。

国際連盟脱退1933＝24歳：同人誌に初めて太宰治の名で作品を発表、好評。大学は留年。

芥川直木賞始1935＝26歳：*卒業、就職に失敗し、自殺未遂。東京帝大を除籍される。「逆行」によって第1回芥川賞候補となるが、次席にとどまり、選考委員の川端康成にかみつく。

二二六事件・1936＝27歳：第1創作集『晩年』を刊行。麻薬中毒になり、入退院を繰り返す、

日中戦争始・1937＝28歳：錯乱した内面を『HUMAN LOST』などの前衛的な方法で表現した。初代の過失で心中未遂、離別。

第二次大戦始1939＝30歳：井伏の取り持ちで、石原美知子と再婚するころから、『富嶽百景』『女生徒』など平明な作風に移り、

大政翼賛会・1940＝31歳：*『走れメロス』などの好短編も生まれた。

日米開戦・1941＝32歳：太田静子を知る。

・・・・・・1942＝33歳：母が死去。義絶も解消。

創価学会検挙1943＝34歳：『右大臣実朝』、

年金+総武装 1944＝35歳：*『津軽』のような名作を残し、

敗戦・・・・・・1945＝36歳：『お伽草紙』などの翻案的佳作を書いた。空襲により、妻子とともに四昼夜かかって津軽に疎開。

新憲法公布・1946＝37歳：戦後は、戯曲『冬の花火』などで便乗思想を批判する一方、

新憲法施行・1947＝38歳：『ヴィヨンの妻』など既成倫理に反逆するような短編を発表。太田静子に子供ができ、認知。滅びゆく高貴なものへの挽歌『斜陽』で流行作家になったが、病状悪化。

極東裁判判決・1948＝39歳：*人間恐怖の自画像『人間失格』を残して、山崎富栄とともに玉川上水に入水して果てた。